

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	低炭素社会構築に向けた研究基盤ネットワークの整備	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部署	研究振興局	担当課室	基礎基盤研究課ナノテクノロジー・材料開発推進室	ナノテクノロジー・材料開発推進室長 坂本 修一		
会計区分	一般会計	上位政策	ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 明日の安全と成長のための緊急経済対策(平成21年12月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ナノテクノロジーを有効に活用し優れた研究成果・技術シーズを創出している研究機関に先端的な研究基盤を整備し、温室効果ガスの削減に資する次世代の環境・エネルギー技術の実用化を加速する研究基盤ネットワークを整備する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ナノテクノロジーを有効に活用し優れた研究成果・技術シーズを創出している研究機関を公募により採択し、以下の2種類の拠点を整備し、ネットワークを構築する。 ○ハブ拠点:グリーンナノテクノロジーに関する優れた研究ポテンシャルを有し、温室効果ガスの削減に向けた基礎的課題に取り組むとともに、サテライト拠点では導入困難な最先端機器を集中的に整備し、サテライト拠点で生まれた研究成果の実用化を加速するための支援を行う。 ○サテライト拠点:グリーンナノテクノロジーに関する特色ある研究成果を有し、その実用化の加速のために必要な研究機器を整備する。					
実施状況	平成22年3月8日～4月2日の期間で公募を実施し、ハブ拠点3件、サテライト拠点27件の応募があった。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	14,000	-	-
	執行額	-	-	0		
	執行率	-	-	0.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	0		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	(参考:平成22年度以降の取組) ○支出先・用途について、委託契約締結時に経費の必要性について業務計画と照らし合わせることで確認を行う。契約期間終了後は、額の確定検査を行い、経費の用途を受託者の備える帳簿類と照合するなどにより、委託事業の目的にそぐわない支出、不明確な支出については委託費の支出を行わない。				
	見直しの余地	○平成21年度二次補正予算に計上した全額を繰り越したが、平成21年度二次補正予算の趣旨を踏まえ、各機関における速やかな執行を促進すべき。 ○各拠点における環境・エネルギー技術の実用化に向けた取組を着実に推進するため、拠点の整備状況や装置類の活用状況、研究開発の進捗状況に加え、ハブ拠点とサテライト拠点間の有機的な連携等、本事業による政策効果についても、逐次フォローアップに努めるべき。				
予算監視の効率化	平成21年度補正予算に計上した平成21年度限りのものであるが、全額を繰り越しており、速やかに執行すべきである。					
補記	○公募要領の策定に当たり知見を有する外部有識者との意見交換を重ねながら、応募要件や審査項目について慎重に検討を行い、関係者の意見を取り入れた結果、実効性の高い制度設計に時間を要したため、全額を平成22年度に繰越し。 ○外部有識者により構成される審査検討委員会の審査結果を踏まえ、平成22年5月に計18拠点(ハブ3拠点、サテライト15拠点)の採択を決定。現在、各機関との委託業務契約を締結し、各機関において事業を開始したところ。 ○事業の進捗状況については、外部有識者や各拠点の担当者から構成される運営会議(年1回程度)を文科省主催により開催し、把握に努めることとする。また、事業の進捗状況を自己点検・自己評価することを目的として、各拠点においても外部有識者を加えた進捗会議を開催する予定。					